

作成日 2012/10/31  
改訂日 2025/3/7

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：Ethanol for Amino Reagent

製品番号：368R1, 434R1, 436R1, 445R1, 446R1, 451R1, 452R1, 461R1

SDS No.：0692-01

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：試験研究用

使用上の制限：推奨用途以外に使用しないこと

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：日本分光株式会社

住所：〒192-8537 東京都八王子市石川町 2967-5

担当部署：品質保証部

電話番号：042-646-4111

FAX：042-646-4120

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 2

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

発がん性：区分 1A

生殖毒性：区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性, 麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1(肝臓), 区分 2(中枢神経系)

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる又は反復ばく露による肝臓の障害

長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

#### 応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
直ちに医師に連絡すること。  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

#### 保管

冷暗所で保管すること。

#### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

単品

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
エタノール	64-17-5	99.5	2-202

#### 危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分なし

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

エタノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

エタノール

### 4. 応急措置

#### 応急措置の記述

##### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。

##### 皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

##### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師の手当てを受けること。

##### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
直ちに医師に連絡すること。

#### 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

#### 医師に対する特別な注意事項

個人用保護具を着用すること。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

#### 使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

### 特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

### 消火を行う者への勧告

#### 特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

#### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

##### (取扱者のばく露防止)

火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。

##### (局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

##### (注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

静電気放電(有機物の蒸気を引火させうる)を避けるために必要な措置をとる。

漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

### 接触回避

強酸化剤との接触を避けること。

### 衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

#### 保管

##### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

上限保存温度 :10

下限保存温度 :2

施錠して保管すること。

(避けるべき保管条件)

直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

#### 管理指標

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度

(エタノール)

ACGIH STEL :1000ppm

#### ばく露防止

##### 設備対策

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

##### 保護具

##### 呼吸用保護具

呼吸用保護具(有機ガス用防毒マスク)を着用すること。

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質:非浸透性もしくは耐化学品ゴム

##### 眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

#### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体

色 : 無色

臭い : 特異臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点 : -130 °C

沸点又は初留点 : 78 °C

可燃性(ガス、液体及び固体): データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 上限; 19.0 vol%, 下限; 3.3 vol%

引火点 : 13 °C

自然発火点 : 371 °C

分解温度データなし

pH データなし

動粘性率データなし

溶解度:

水, ジエチルエーテル : 極めて溶けやすい。

n-オクタノール/水分配係数 : -0.32

蒸気圧 : 59.3 mmHg ( 25 °C )

密度及び/又は相対密度 : 0.789 - 0.791 g/mL

相対ガス密度(空気=1) : 1.6 (air = 1)  
粒子特性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

反応性データなし

### 化学的安定性

光により 変質するおそれがある。

### 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

### 避けるべき条件

高温と直射日光, 熱, 炎, 火花, 静電気, スパーク

### 混触危険物質

強酸化剤

### 危険有害な分解生成物

一酸化炭素(CO), 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

#### 急性毒性

急性毒性(経口)

区分に該当しない

急性毒性(経皮)

区分に該当しない

急性毒性(吸入)

区分に該当しない

#### 局所効果

皮膚腐食性/刺激性

区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分 2B, 強い眼の刺激

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

データ不足のため、分類できない。

皮膚感作性

データ不足のため、分類できない。

#### 生殖細胞変異原性

データ不足のため、分類できない。

#### 発がん性

区分 1A, 発がんのおそれ

#### 生殖毒性

区分 1A, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

#### 特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分 3, (気道刺激性, 麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分 2, (中枢神経系), 区分 1, (肝臓)

#### 誤えん有害性

データ不足のため、分類できない。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境有害性

区分に該当しない

水生環境有害性 短期(急性)

藻類 (Chlorella alga) 96時間 EC50: 1000 mg/L

魚(Oncorhynchus mykiss) 96時間 LC50:11200 ppm

甲殻類(Daphnia magna) 48時間 EC50: 5463 mg/L

水生環境有害性 長期(慢性)

甲殻類 10日間 NOEC50: 9.6 mg/L

水溶解度

混和する

残留性・分解性

分解度: 89% by BOD

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

## 国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 :1170  
正式輸送名 : エタノールまたはエタノール溶液  
分類または区分 : 3  
容器等級 : II  
指針番号 : 127  
特別規定番号 : 144

## IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 :1170  
正式輸送名 : エタノールまたはエタノール溶液  
分類または区分 : 3  
容器等級 : II  
特別規定番号 : 144

## IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 :1170  
正式輸送名 : エタノールまたはエタノール溶液  
分類または区分 : 3  
容器等級 : II  
特別規定番号 : 144

## 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当

## 特別の安全対策

特別の安全対策データなし

## MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

データなし

## 国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

## 労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条、施行令第18条)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)No. 61

皮膚等障害化学物質 (規則第594条の2)に該当

危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)

## 化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

## 消防法

危険物第四類 アルコール類 危険等級 水溶性

大気汚染防止法に該当しない。

土壌汚染対策法に該当しない。

水質汚濁防止法に該当しない。

## 16. その他の情報

## 参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)

IATA 航空危険物規則書 第65版 (2024年)  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
JIS Z 7252 : 2019  
JIS Z 7253 : 2019  
2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)  
Supplier's data/information  
GESTIS-Stoffdatenbank  
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP) (令和5年度 (2023年度) 公表分まで))です。